

### 夏を安全に楽しみましょ



はいた〜い、8月やいびんどー。あちさいびんやー。脱水さんように、みじんたふあーら、うさがみそーりよーたい。

まだまだ暑い日が続いていますね。ウチナンチュなら、やっぱり「海でビーチパーリー」でしょうか。

今回は、そんな海でのレジャーを安全に楽しく過ごせればと、「水難事故」に関するデータについて調べてみました。

では早速、表1をご覧ください。平成28年における水難事故の発生件数は1,505件、水難者1,742人、うち死者797人、行方不明者19人、負傷者313人、無事救出者は613人となっています。お気づきですか？なんと、水難者の2人に1人が死亡又は行方不明となっているんですよ。これってすごい割合だと思いませんか。

|          | H27   |     | H28   |           |
|----------|-------|-----|-------|-----------|
|          | 総数    | 子供  | 総数    | 構成比       |
| 発生件数(件)  | 1,450 | 179 | 1,505 | 162       |
| 水難者(人)   | 1,635 | 230 | 1,742 | 217       |
| 死者・行方不明者 | 791   | 53  | 816   | (47%) 31  |
| 死者       | 780   | 53  | 797   | (46%) 31  |
| 行方不明者    | 11    |     | 19    | (1%)      |
| 負傷者      | 314   | 44  | 313   | (18%) 54  |
| 無事救出     | 530   | 133 | 613   | (35%) 132 |

注) 発生件数(件)の、「子供」欄は水難者が子供のみであった件数を示す。  
※ 構成比については、県統計課にて算出

表1:水難発生状況(発生件数及び水難者数)(平成27・28年)

では、どの年齢層での事故が多いのでしょうか。(表2)

平成28年の水難者1,742人のうち、高校卒業相当年齢以上65歳未満が845人(48.5%)、65歳以上の高齢者が589人(33.8%)と、いわゆる「大人」での割合が高いようです。てっきり子供の事故が突出しているのかと思いましたが、実は、そうでもないようです。子供の事故件数は217件と全体の12.5%で、小学生でその割合が高くなっています。



|                      | H27   |       | H28 |       |
|----------------------|-------|-------|-----|-------|
|                      | 人数    | 人数    | 人数  | 構成比   |
| 子供                   | 230   | 217   | 217 | 12.5% |
| 未就学児童                | 74    | 59    | 59  | 3.4%  |
| 小学生                  | 115   | 119   | 119 | 6.8%  |
| 中学生                  | 41    | 39    | 39  | 2.2%  |
| 高校生又はこれに相当する年齢の者     |       | 63    | 70  | 4.0%  |
| 高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者 |       | 783   | 845 | 48.5% |
| 65歳以上の者              |       | 559   | 589 | 33.8% |
| 不明                   |       |       | 21  | 1.2%  |
| 合計                   | 1,635 | 1,742 |     |       |

表2:水難者の年齢層別数(平成27・28年)

では次に、場所別による死者・行方不明者数をみてみましょう。(表3,4)

平成28年における死者・行方不明者数は816人、うち「海」によるものが425人(52.1%)、「河川」によるものが250人(30.6%)となっています。ですが、これを子供に限定してみると、子供の死者・行方不明者31人中、「河川」によるものが20人(64.5%)、「湖沼池」、「用水路」、「プール」がそれぞれ3人(9.7%)、「海」が2人(6.5%)と、ずいぶん様子が違ってきます。



|     | H27 |     | H28 |       |
|-----|-----|-----|-----|-------|
|     | 人数  | 人数  | 人数  | 構成比   |
| 海   | 418 | 425 | 425 | 52.1% |
| 河川  | 235 | 250 | 250 | 30.6% |
| 湖沼池 | 57  | 44  | 44  | 5.4%  |
| 用水路 | 68  | 81  | 81  | 9.9%  |
| プール | 5   | 9   | 9   | 1.1%  |
| その他 | 8   | 7   | 7   | 0.9%  |
| 合計  | 791 | 816 |     |       |

表3:死者・行方不明者の場所別数(平成27・28年)

|     | H28 |       |
|-----|-----|-------|
|     | 人数  | 構成比   |
| 海   | 2   | 6.5%  |
| 河川  | 20  | 64.5% |
| 湖沼池 | 3   | 9.7%  |
| 用水路 | 3   | 9.7%  |
| プール | 3   | 9.7%  |
| その他 |     |       |
| 合計  | 31  |       |

表4:死者・行方不明者の場所別数(子供)(平成28年)

では、行為別による死者・行方不明者数になるとどうでしょう。(表5,6)

平成28年の死者・行方不明者数は816人ですが、「魚とり・釣り」での事故が237人(29.0%)と一番多いことがわかります。これを、子供に限定してみると、子供の死者・行方不明者31人中、「水遊び」14人(45.2%)、「陸上における遊戯・スポーツ中」5人(16.1%)、「水泳」4人(12.9%)という結果に。子供は浅いところでも溺れる可能性が十分にあるようなので、「水遊び」の最中の事故も、そんな状況の中、発生してしまつたものなのかもしれません。



|                | H27 |     | H28 |       |
|----------------|-----|-----|-----|-------|
|                | 人数  | 人数  | 人数  | 構成比   |
| 水泳             | 69  | 69  | 69  | 8.5%  |
| 水遊び            | 55  | 61  | 61  | 7.5%  |
| 魚とり・釣り         | 226 | 237 | 237 | 29.0% |
| 作業中            | 53  | 62  | 62  | 7.6%  |
| 通行中            | 75  | 49  | 49  | 6.0%  |
| その他            | 313 | 338 | 338 | 41.4% |
| 陸上における遊戯・スポーツ中 | 4   | 5   | 5   | 0.6%  |
| ボート遊び          | 5   | 14  | 14  | 1.7%  |
| 水難救助活動         | 5   | 13  | 13  | 1.6%  |
| シュノーケリング       | 30  | 22  | 22  | 2.7%  |
| スキューバダイビング     | 9   | 10  | 10  | 1.2%  |
| サーフィン          | 12  | 11  | 11  | 1.3%  |
| その他            | 65  | 54  | 54  | 6.6%  |
| 不明             | 183 | 209 | 209 | 25.6% |
| 合計             | 791 | 816 |     |       |

注)「不明」は、従来「その他」に含まれていた原因不明の事故を示す。

表5:死者・行方不明者の行為別数(平成27・28年)

|                | H28 |       |
|----------------|-----|-------|
|                | 人数  | 構成比   |
| 水泳             | 4   | 12.9% |
| 水遊び            | 14  | 45.2% |
| 魚とり・釣り         | 2   | 6.5%  |
| 作業中            |     |       |
| 通行中            | 2   | 6.5%  |
| その他            | 9   | 29.0% |
| 陸上における遊戯・スポーツ中 | 5   | 16.1% |
| ボート遊び          |     |       |
| 水難救助活動         |     |       |
| シュノーケリング       |     |       |
| スキューバダイビング     |     |       |
| サーフィン          |     |       |
| その他            | 2   | 6.5%  |
| 不明             | 2   | 6.5%  |
| 合計             | 31  |       |

表6:死者・行方不明者の行為別数(子供)(平成28年)

ちなみに、都道府県別による水難事故の発生件数は、平成28年では、沖縄県で最も多く85件、次いで、千葉県72件、北海道62件となっています。(表7)

また、平成28年(平成28年8月31日現在)の沖縄県における水難事故の発生件数は49件で、県民28件、観光客18件、米軍人等は3件となっています。

さて、そんな怖い水難事故ですが、未然に防ぐためにできること、あるんですよ。

#### <水難事故を防止するために>

- ◆ライフジャケットを必ず着用する  
潮干狩り、釣り及びシュノーケリングなどの際は、ライフジャケットを必ず着用する。
- ◆シュノーケルは正しく使う
- ◆子供だけの遊泳は行わせない  
保護者が同伴の場合でも、子供が水から上がるまで確実に見届ける。
- ◆台風時や天候が悪いときには、絶対に海岸に近づかない
- ◆飲酒した場合や体調が悪いときの遊泳はやめる

～沖縄県警察ウェブサイトより～



あなたのそのレジャーを笑顔で終わらせるために、何より、あなたの大切な人を守るためにも、これらのことを、しっかり守っていきたいですよ。

|      | H28     |          |       |          |
|------|---------|----------|-------|----------|
|      | 発生件数(件) | 水難者総数(人) | 死者(人) | 行方不明者(人) |
| 県民   | 28      | 33       | 6     | 1        |
| 観光客  | 18      | 18       | 3     | 0        |
| 米軍人等 | 3       | 20       | 5     | 0        |
| 合計   | 49      | 71       | 14    | 1        |

表8:沖縄県における(県民・観光客・米軍人等)の水難事故発生状況(平成28年)(平成28年8月31日現在)